



あなたの立場で問題を解決するコンサルタントです

# ススキノに元気はもどったのか

新型コロナウイルス対策で北海道など19都道府県に出されていた緊急事態宣言は10月1日に解除され、札幌市内の飲食店の規制は同15日に全面解除となった。ススキノには休日前の金曜とあって、待ちかねた市民がどっと繰り出した。午後9時に消灯していたススキノ交差点のシンボル・ニッカウキスキーのネオン看板も午前0時まで点灯した。



飲食店の営業時間規制が解除されたススキノ

全面解除から4週間が経ち、ススキノの飲食店は賑(にぎ)わいを取り戻したのだから。週末のススキノを訪れた。金曜日の午後6時過ぎ、日はとつぷりと暮れ、色とりどりのネオンサインは鮮やかな光を放っていたが、人出は思

ったほどではなかった。背広姿のサラリーマンの姿は意外に少なく、若者ばかりが目につく。路面に面した飲食店を見て回ると、ほとんどが営業を再開していたが、間口の広い居酒屋があった場所が空き店舗になっていた。それでも営業している店には、それなりに客が入っていた。

夜9時を過ぎると、飲食店

**交流晚会中止のお知らせ**  
12月に開催を予定していた第71回交流晚会は、大勢での会食を伴うため、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止することにしましたのでお知らせします。

ビル内のスナックの多くがドアを開け放ち、たくさんの客の姿が見えた。ただ、カラオケ  
(次ページへ続く)

**「道商工連」に同封してチラシやパンフ無料配布**  
道商工連が毎月10日前後に発行している会報紙『道商工連』に同封して、皆さまが製作したチラシやパンフレットなどの宣伝物を、会員登録の皆さま宛てに無料で配送します。  
毎月、月末まで(12月は20日まで)に250部を道商工連までお届けください。

会員訪問・大丸電機工業(株)(3面)／札幌市が客引き防止条例(2面)

## 凱風 (夏から秋に吹く南風)

今年のプロ野球は日本シリーズに向けてのクライマックスシリーズを残すのみだ。何といつても、セパ両リーグとも前年最下位のスワローズとオリックスが優勝し、まさに下克上の世界だ▼こういう結果を見るにつけ、政治の世界でも自民党に代わって野党が政権を取ってほしいのだが、何と自民は261議席も獲得して絶対安定多数を確保してしまつた▼立憲民主党は110議席から96議席へ議席を減らして痛い敗北になった。どうしたら政権交代を実現できるのか。与党が自民・公明連合なのに、野党がバラバラで勝てるはずがない▼今回、共産党を含む野党共闘に批判が集まっているが、立憲が敗北した理由は、共産党との共闘より、枝野・福山体制が民主党政権のイメージを引きずる官房長官・副長官コンビだったからではないか。次に選ばれる新体制に期待したい。

(前ページから続く)

の音量はかなり控えめだった。ススキノに外国人観光客の姿は全くないが、コロナ前と同じような日常が戻りつつあるように思えた。ただビル内にも閉まったままの店が目についた。

### 集団感染が2カ月以上ゼロ

ススキノ地区の新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いている。ススキノで感染リスクが高いとされた接待を伴う飲食店では10月11日以降、感染者は出ていないし、集団感染(クラスター)の発生は2カ月以上ないのだ。

これには、すすきの観光協会などが8月25日〜10月19日まで実施した、ススキノで働く飲食店従業員やその家族を対象にした、新型コロナウイルスの職場接種の効果が大きいと見られている。約1万3千人が2回の接種を終え、同協会では2回接種を終えた従業員らに接種証明バッジも配布するなど、地域をあげた啓発活動の効果といえそうだ。また、飲

食店の新型コロナ感染対策を証明する道の「第三者認証」を取得した店も増え、ススキノ来訪者の安心感につながっている。

### 飲食店の緩和実験を実施

新型コロナウイルスワクチンの接種済証か検査の陰性証明(ワクチン・検査パッケージ)があれば、人数が多くても入店できるなどの行動制限を緩和する政府の実証実験が10月22日〜30日に行なわれた。

場所はススキノの居酒屋「北の味大助」(約80席)と「たち呑みOOSUKE」(10人程度)。店の入り口で従業員が1人ずつスマートフォンなどで接種済証や陰性証明を確認。来店者の3割は接種済証などを持っておらず、店の前に設置したブースで簡易抗原検査を受けたが、20分ほど待たされる例もあつたという。一方、「店では、接種済証の確認のため、混雑時に備えて店員を1人増やす必要を感じた」(『北海道新聞11月6日朝刊』)という。「実験期間中、5人以上の団体

客が20組近く来店し、売り上げは実験前に比べ2〜3割上がった(同)ともいう。

現在、飲食店の時間制限は解除中だが、政府はこの検査パッケージなどを活用し、再び緊急事態宣言が発令された場合でも、夜9時までの営業を認める考えだ。内閣官房は実験結果を検証し、11月中に制度を作り上げたいとしている。

### 札幌市が客引き禁止条例

札幌市は来春にも「客引き等を防止するための条例」を施行する計画だ。路上にたむろして声をかける客引きや飲食店で働くように誘うスカウトが、市民や観光客に不安を与えていると指摘されていた。

5万円以下の過料や氏名住所の公表の罰則で、指示・依頼した事業者も罰する。

対象地域はススキノや市内中心部を想定してカラオケ店や居酒屋も対象。チラシやティッシュ配り、店の呼び込みは規制しない。

いざという時 機能しますか !!

ビルの安心・安全

- ・警報が鳴りますか
- ・スプリンクラーが作動しますか
- ・消火器はどこにありますか

消防設備の機能定期点検(法令)おまかせ下さい



有限会社 セーフシステムメンテナンス

〒062-0053 札幌市豊平区月寒東2条17丁目1-45

TEL 011-855-6006 fax 011-855-6086

消防設備法定点検、各種法定点検の

ご相談、受け賜っております。

会員訪問

大丸電機工業株式会社

代表取締役 佐藤 升規ますきさん(47)

持続可能な社会の形成を目指して

同社は1982年創業。トンネルやダム、高速道路などの土木工用電気設備で成長した。避雷針などのアース設備工事では独自の工法を開発し、接地抵抗低減剤「SEYアース」などの製造特許を持ち、NTTドコモ無線基地

局受電設備工事では、道内の約半数を担ってきた。近年は、地球環境保全のため、風力や太陽光発電などの再生可能エネルギー事業を柱に据えたいえ、多角化を図りながら成長を目指している。

二代目の佐藤升規社長は



「地球温暖化は二酸化炭素の排出量が急増したためといわれますし、最近では、プラスチックによる海洋汚染も深刻です。こうした問題に積極的に取り組む企業でありたいですね」と言う。

話は飛ぶが、実は佐藤社長の趣味は料理。同社は、ホタテのライスバーガーとホットドッグ、それにソフトクリームがメインのカフェ「C

IEL(シエル)」（札幌市北区太平7条5丁目2-5）を出店している。ホタテは社長の出身地、紋別市の特産で、おいしさは折り紙つきだが、ソフトクリームがまたすごい。世界最大のジェラートコンテストで二冠の世界チャンピオンである、網走市のジェラード店「ジェラテリア・リモ」のオーナーシェフ、高田聡氏が監修している。その味を、道央圏で味わえるのは、この店だけなのだ。お薦めである。

「ここ、カフェ・シエルに、佐藤社長の生きざまが見て取れる。「つくる責任つかう責任」として、ビニール袋削減と脱プラスチックを目指します」と宣言。2025年末を目指して段階的にテークアウト容器やスプーンをプラスチックから紙または木製に移行させる。同店オリジナルエコバッグ(有料)利用者には会計金額から5%引きの特典を付け、2025年末まで実施する。

また、ジェンダー平等と女性の地位向上へは、男女・学生を

問わず平等に打ち合わせや新メニューの開発に参加して運営にも携わり、権限や賃金も同じ。

さらに、貧困や飢餓、健康と福祉のため、フードシェアリングサービスである「プラスフード」に参加して、条件を満たす人に廃棄になりそうな商品を無料で配布している。

本業の電気工事でもこうしたい思いは貫かれている。省エネ

による二酸化炭素削減を目指し、また国内で発光ダイオード(LED)照明の製造がない

時期から、その普及に取り組んできた。「当時は韓国製で値段が高かったのですが、省エネは分かりやすかったので広がりました」。街を彩るイルミネーションも最たるものだ。

同社はいま、風力や太陽光などの自然エネルギーを利用するクリーンエネルギー導入に取り組んでいる。特に配電線のない山間部などで、自然環境や景観を壊さず設置するよ

うな、さまざまな条件の下での設計ノウハウを持つ。再生可能エネルギーの普及には、電力会社の配電網への接続が進まず足かせになっているが、大手資本による独自の配電線敷設のプロジェクトが道内でも動きはじめ、今後、国による制度整備が進めば、再生可能エネルギーの需要は一気に増える

と見ている。

そんな中、佐藤社長の一番の悩みは、人手不足だとい

う。少子化で建設・土木業界を目指す若者が決定的に足りない。危険な高圧電力を扱うので言葉が通じづらい外国人労働者の受け入れは難しい。「ベテランと賃金が逆転するほど高い額を示しても来てもらえない」と言い、もう、政治がしっかり対策を講じなければ解決しない課題になっていると訴える。

札幌市北区篠路町上篠路62-60、電話011-775-2333

